

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公表番号】特表2004-504369(P2004-504369A)

【公表日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-514071(P2002-514071)

【国際特許分類】

C 07 C 7/20 (2006.01)

C 07 C 15/46 (2006.01)

C 07 C 253/32 (2006.01)

C 07 C 255/08 (2006.01)

【F I】

C 07 C 7/20

C 07 C 15/46

C 07 C 253/32

C 07 C 255/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月30日(2008.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

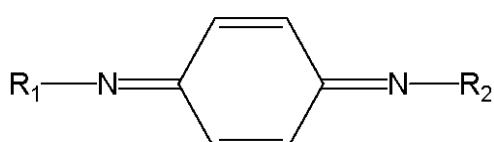
【請求項1】 ビニル官能基含有組成物の重合を防止する方法であって、キノンジイミド化合物とヒドロキノンとからなるビニル官能基重合防止剤の有効量をビニル官能基含有組成物に添加することを含んでなる方法。

【請求項2】 前記ビニル官能基含有組成物が、塩化ビニル、酢酸ビニル、メタクリル酸メチル、アクリロニトリル、メタクリロニトリル、アクリル酸、メタクリル酸、スチレン、-メチルスチレン及びビニルトルエンからなる群から選択されるビニルモノマーを含有する、請求項1記載の方法。

【請求項3】 前記キノンジイミド化合物がベンゾキノンジイミド化合物を含む、請求項2記載の方法。

【請求項4】 前記ベンゾキノンジイミド化合物が次の一般式のものである、請求項3記載の方法。

【化1】



式中、R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>は同一又は異なるもので、アルキル、アリール、アルカリール又はアラルキル基である。

【請求項5】 前記ベンゾキノンジイミド化合物が、N,N-ジセオブチル-p-ベンゾキノンジイミド、N-フェニル-N-メチル-p-ベンゾキノンジイミド、N-フェニル-N-エチル-p-ベンゾキノンジイミド、N-フェニル-N-ブチル-p-ベンゾキノンジイミド、N-フェニル-N-n-ブチル-p-ベンゾキノンジイミド、N-フェニル-N-イソブチル-p-ベンゾキノンジイミド、N-フェニル-

- N - s e c - プチル - p - ベンゾキノンジイミド、N - フェニル - N - t e r t - プチル - p - ベンゾキノンジイミド、N - フェニル - N - n - ペンチル - p - ベンゾキノンジイミド、N - フェニル - N - (1 - メチルヘキシル) - p - ベンゾキノンジイミド及びN - フェニル - N - (1, 3 - ジメチルヘキシル) - p - ベンゾキノンジイミドからなる群から選択される、請求項4記載の方法。

【請求項6】 前記ベンゾキノンジイミド化合物が、N - {4 - [(1, 3 - ジメチルブチル)イミノ] - 2, 5 - シクロヘキサジエン - 1 - イリジン}を含む、請求項4記載の方法。

【請求項7】 前記キノンジイミドとヒドロキノンとの比が重量比で1 : 20 ~ 20 : 1である、請求項1記載の方法。

【請求項8】 前記キノンジイミドとヒドロキノンとの比が重量比で1 : 10 ~ 10 : 1である、請求項7記載の方法。

【請求項9】 前記キノンジイミドとヒドロキノンとの比が重量比で1 : 3 ~ 3 : 1である、請求項8記載の方法。

【請求項10】 前記キノンジイミドとヒドロキノンとの比が重量比で1 : 1である、請求項9記載の方法。

【請求項11】 ビニル重合防止剤を、ビニル官能基含有組成物百万重量部当たり0.5 ~ 10000重量部の割合でビニル官能基含有組成物に添加する、請求項1記載の方法。

【請求項12】 ビニル重合防止剤を、ビニル官能基含有組成物百万重量部当たり1 ~ 500重量部の割合でビニル官能基含有組成物に添加する、請求項11記載の方法。

【請求項13】 ビニル重合防止剤をビニル官能基含有組成物に分散物として添加する、請求項1記載の方法。

【請求項14】 ビニル重合防止剤をビニル官能基含有組成物に溶液として添加する、請求項1記載の方法。